

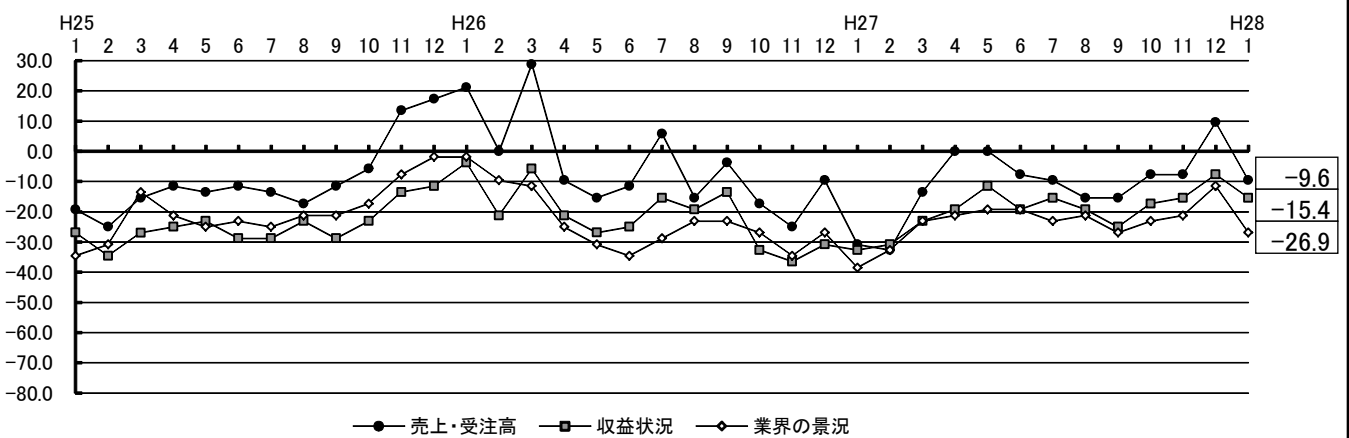
中小企業団体情報連絡員報告結果(平成28年1月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 1月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「在庫数量」「資金繰り」「設備操業度」の3指標が上昇し、「売上高」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「雇用人員」「業界の景況」の6指標が低下した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より19.2ポイント低下の-9.6ポイント、「収益状況」が7.7ポイント低下の-15.4ポイント、「業界の景況」が15.4ポイント低下の-26.9ポイントであった。
- 「在庫数量」「設備操業度」が5ポイントを超えて大きく上昇した。「売上高」「業界の景況」が15ポイントを超えて大幅に低下し、「収益状況」が5ポイントを超えて大きく低下した。「雇用人員」が2ヶ月連続で低下した。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-9.6	-19.2	-28.0	-10.6
収益状況	-15.4	-7.7	-25.6	-5.6
業界の景況	-26.9	-15.4	-28.7	-5.5

売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月より19.2ポイント低下の-9.6ポイントとなった。全国においては、前月より10.6ポイント低下の-28.0ポイントとなった。

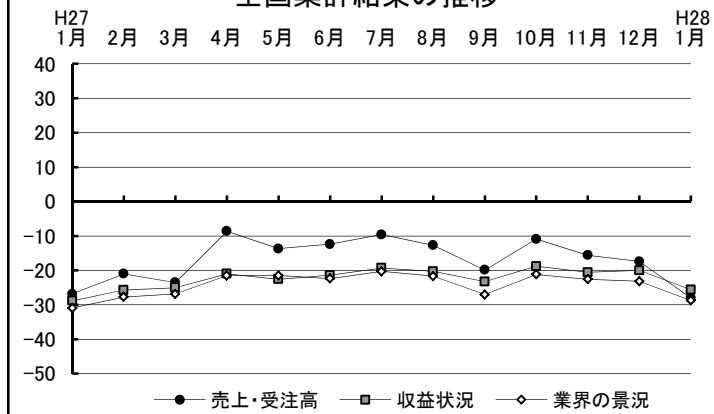
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より7.7ポイント低下の-15.4ポイントとなった。全国においては、前月より5.6ポイント低下の-25.6ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より15.4ポイント低下の-26.9ポイントとなった。全国においては、前月より5.5ポイント低下の-28.7ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概況-

1月の前年同月比D I値は、前月の前年同月比D I値と比べて、9指標中「在庫」「資金」「操業」の3指標が上昇し、「売上」「価格」「条件」「収益」「雇用」「景況」の6指標が低下した。主要3指標は、「売上」が前月より19.2ポイント低下の-9.6ポイント、「収益」が7.7ポイント低下の-15.4ポイント、「景況」が15.4ポイント低下の-26.9ポイントであった。指標を個別に見ると、「在庫」「操業」が5ポイントを超えて大きく上昇した。「売上」「景況」が15ポイントを超えて大幅に低下し、「収益」が5ポイントを超えて大きく低下した。「雇用」が2ヶ月連続で低下した。

また、業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中1業種が上昇、3業種が低下し、非製造業で6業種中1業種が上昇、4業種が低下した。「収益」は製造業で2業種が上昇、1業種が低下し、非製造業で4業種が低下した。「景況」は製造業で1業種が低下し、非製造業で3業種が低下した。

全国指標では、前月の前年同月比D I値と比べて9指標中全指標が低下した。長引く暖冬から一転して記録的な大寒波に見舞われ、物流や商流が打撃を受けて消費動向も低迷し、季節需要等の大幅な減退が継続している。また、世界的な株価下落に加え、円相場も上昇傾向にあり、企業業績の下振れや内需の縮減を懸念する声も高まっており、中小企業の先行き不透明感は一層増大している。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	操業	雇用	景況
食料品製造	△	△	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	△	○	△	△	×	△	△	△	×
木材・木製品	△	△	△	△	△	△	△	△	△
印刷	×	△	×	△	×	△	△	△	×
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	×	△	△	×	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	○	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	△	△	△	△	×	△	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	○	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	×	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	×	—	△	△	△	△	—	△	△

○ 増加・上昇・好転 (DI値 +40ポイント以上) △ 不変 × 減少・低下・悪化 (DI値 -40ポイント以下)

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	操業	雇用	景況
食料品製造	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	0.0	50.0	25.0	-25.0	-50.0	-25.0	-25.0	-25.0	-50.0
木材・木製品	0.0	25.0	-25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	-25.0
印刷	-100.0	0.0	-100.0	0.0	-100.0	0.0	0.0	0.0	-100.0
窯業・土石	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0
鉄鋼・金属	-25.0	-50.0	0.0	0.0	-50.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
一般機器	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
小計	-8.0	8.0	-4.0	-4.0	-20.0	-4.0	-8.0	-4.0	-28.0
卸売業	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	33.3
小売業	-28.6	-28.6	28.6	-14.3	-42.9	-28.6		0.0	-57.1
サービス業	-33.3		0.0	0.0	0.0	0.0		-16.7	-33.3
建設業	40.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	-50.0		25.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-25.0
その他	-50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小計	-11.1	-10.0	11.1	-3.7	-11.1	-7.4		-3.7	-25.9
合計	-9.6	2.9	3.8	-3.8	-15.4	-5.8	-8.0	-3.8	-26.9

図表3～【指標別DI値の推移】

	H27												H28
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
売上高	-30.8	-32.7	-13.5	0.0	0.0	-7.7	-9.6	-15.4	-15.4	-7.7	-7.7	9.6	-9.6
在庫数量	-14.3	-11.4	0.0	-8.6	5.7	-2.9	-8.6	0.0	-8.6	-20.0	0.0	-2.9	2.9
販売価格	3.8	3.8	5.8	1.9	9.6	7.7	11.5	7.7	3.8	7.7	3.8	7.7	3.8
取引条件	-11.5	-9.6	-3.8	-5.8	-9.6	-7.7	-3.8	-1.9	-7.7	-1.9	-1.9	-1.9	-3.8
収益状況	-32.7	-30.8	-23.1	-19.2	-11.5	-19.2	-15.4	-19.2	-25.0	-17.3	-15.4	-7.7	-15.4
資金繰り	-19.2	-11.5	-5.8	-7.7	-11.5	-11.5	-13.5	-11.5	-11.5	-3.8	-5.8	-9.6	-5.8
設備操業度	-16.0	-36.0	-16.0	-24.0	-8.0	-20.0	-8.0	-8.0	-16.0	-20.0	-4.0	-16.0	-8.0
雇用人員	-19.2	-13.5	-17.3	-11.5	-13.5	-15.4	-17.3	-7.7	-7.7	-3.8	0.0	-1.9	-3.8
業界の景況	-38.5	-32.7	-23.1	-21.2	-19.2	-19.2	-23.1	-21.2	-26.9	-23.1	-21.2	-11.5	-26.9

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	操業	雇用	景況
食料品製造	-25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
繊維・同製品	-25.0	50.0	0.0	0.0	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
木材・木製品	0.0	0.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0
鉄鋼・金属	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
小計	-8.0	16.0	-4.0	0.0	4.0	4.0	8.0	-4.0	-4.0
卸売業	0.0	0.0	-33.3	-33.3	-33.3	0.0	/	0.0	0.0
小売業	-42.9	-28.6	0.0	0.0	-14.3	14.3		-14.3	-42.9
サービス業	-33.3	/	0.0	0.0	-33.3	0.0		16.7	-33.3
建設業	20.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-40.0
運輸業	-75.0		0.0	0.0	-25.0	0.0		0.0	0.0
その他	-50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小計	-29.6	-20.0	-3.7	-3.7	-18.5	3.7	0.0	-25.9	
合計	-19.2	5.8	-3.9	-1.9	-7.7	3.8	8.0	-1.9	-15.4

特記事項

情報連絡員報告（平成28年1月分）

所属組合	特記事項
酒類製造業	純米酒・吟醸酒等の売上がやや良好で、在庫としての製造が微量だが伸びているため、在庫数量・設備操業度が少し上昇している。
外衣・シャツ製造業	12月の気温が平年より高めだったため、冬物衣料の販売が初旬は良かった。しかし、12月後半から1月にかけての不調のため、春物の受注量が減少している状態である。
染色整理業	不安定感が広がっている。
一般製材業	1月は大型物件が入り、加工坪数はアップした。全体的な棟数も予定が例年以上に入ってきている。
印刷業	ニーズの変化、需要の縮小、過当競争、低価格、原材料価格の上昇など厳しい経営環境に変わりはない。
碎石製造業	出荷量（4～12月）は、去年同期比で5.2%減少しているが、路盤用については堅調である。
金属製品製造業	季節要因もあり、白物家電（冷蔵庫・エアコン）は1～3月は調整のため減産。
金属製品製造業	自動車部品関連企業は、富士重工の下請企業はフル操業で、人手不足の状況である。自動車部品金型関連企業は、1月から7月までの受注がすでに決定しており、残業が続いている。今年8月以後は未定であるが、多少減少する見込みである。
一般機械器具製造業	本年1月は、前年同時期と比較し、ほぼ前年同様の結果報告であった。ただし、一般的に景気の不透明感がある。
一般機械器具製造業	新規受注に関しては、色々な案件が出ており、少しずつであるが好転してきている。生産面では、工程改善による効果が出てきているために、少しずつであるが稼働率は良くなっている。新規客先へのアプローチもようやく身になりつつあり、今後大きく期待できると思われる。雇用人員に関しては、中途採用で補強をし、生産に寄与できるようになってきているが、まだまだ収益状況、資金繰りの好転まではいかず、対策中である。更に、従業員の平均年齢が高くなっており、技術の伝承を考えるとまだまだ対応が必要であり、若い新入社員の雇用も含めて考えている。新規設備導入を含めて対応中である。
各種商品卸売業	業況としては、昨年同月と比べ大きな変化はない。昨年来続いている燃料価格の下落は、多くの企業でコスト低減につながり大変助かっている。しかし、年初からの株安（特に1月20日、日経平均株価が1年3ヶ月ぶりの安値となったこと）や中国経済の減速等による影響が懸念される等の声が多かった。アベノミクス「新3本の矢」による経済成長戦略に期待したい。
食肉小売業	国外の仕入価格が高値で推移している。商品が売れず、売価も変わらず、利益が稼げない状態だ。
各種商品小売業	年初めの天候に、人出は例年になく多く見られたが、残念ながら都心部のような勢いはまだ見ることができない。
各種商品小売業	全体としては99%とわずかながら前年を割る結果であった。年明けからのクリアランスセール期間中においては、前年を超える数字で推移していたが、積雪があった中旬以降、消費マインドも冷え込み、月後半は伸び悩んだ。近隣ショッピングセンターが立て続けにリニューアルを推し進めている中、当組合としての強みを今一度見直し、決算へ向けて突き進むとともに、来季の計画を精査していきたい。

花・植木小売業	1月に入り、寒中らしい寒さと雪の影響により、店頭への来客は少なく、売上は低迷した。市場の入荷量は前年並みだが、需要の低迷もあり相場は低い水準で推移した。業務関係では、ブライダルは定期的に少なく、葬儀を中心とした動きとなった。
理容業	後継者のいない高齢による廃業・休業者が増加している。
自動車整備業	自動車業界は増販期に入ってくる。ただし、私共個人の自動車整備業は、新車ディーラーのユーザー囲い込み、他業種からの参入等により、以前ほどの活気が見られない状況にあると思われる。私共も現ユーザーのニーズにできるだけ応えていく体制づくりをしていく必要がある。
ビルメンテナンス業	ほぼ前年並みの状況で推移した。
給食センター	平成27年3月末で不採算部門の撤退があり、売上高は前年同月比で大幅な減少となった。 食材・燃料・水道光熱費の価格が下がっていることや、不採算部門の撤退・新調理法で製造した弁当の拡販等コストダウンにより、収益は改善されつつある。
旅館・ホテル	1月は前年比で概ね横ばいの中で、やや上昇といったところ。雪不足で正月のスキー客が減少したが、反面積雪がなく穏やかな天候に恵まれたのが良かった。一方で、今年のスキーシーズンは出足が悪く、いまだ例年ほどに至っていないようだ。これから先2、3月に向け業績悪化が懸念される。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数から見ると、前年同月比カーテン用ラベルは65%増、敷物用ラベルは2%減、壁装用ラベルは25%減であった。 平成27年4月～平成28年1月累計では、カーテン用ラベルは25%増、敷物用ラベルは31%増、壁装用ラベルは9%増であった。 ラベルの支給金額の前年同月比は38%増、平成27年4月～平成28年1月累計では20%増であった。
一般貨物自動車運送業	例年当月は荷動きが減少の状況にあるが、本年当月はさらに厳しい傾向を示した。ドライバー不足、高齢化も深刻である。
貨物軽自動車運送業	昨年同月と比べると、全般的に輸送量は停滞気味にあり、景況感は足踏み状況にある。今年度は早い時期より年度末の引越し予約が増大している。ドライバー不足によるものと思われる。 原油価格の下落に伴い、輸送コストが下がり、利益率はアップした。 アメリカや中国、新興国等、世界経済における輸出関連貨物の動向が気になる。 高齢化とドライバー不足が深刻化している。
一般乗用旅客自動車運送業	1月に二回ほど降雪があり、繁忙の日はあったが、全体的に2ポイントほどのマイナスだった。このところの燃料安で助かっている。
大谷石採石業	業者間の違いが大きく、前年同月比較でほぼ同様に推移したところと、逆に半分位まで減少したところがあった。後者は、前年1月に前月の溢れた分があったという要因もある。 全体としては減少であった。